



当士会の新ロゴマークが、
決定しました。その関連記事
は、13Pに掲載されています。

会 報 と や ま

平成24年度

No. 2

(通算126号)

総会員数580名 (休会55名)

全148施設



第17回 富山県理学療法学会大会

大会テーマ：理学療法 の 伝 承

開 催 期 日 ・ 会 場

会 期：2012年11月23日 金曜日（祝日）
午前 9 時45分から午後 3 時30分まで

演題発表：一般演題発表 16題（口述：6 題、ポスター：10題）

会 場：富山医療福祉専門学校 〒936-0023 富山県滑川市柳原149-9
<http://www.tif.ac.jp/>

参 加 費：会員・非会員 2,000円 学生 500円
公開講座 無料

富山県理学療法士会は、40年の節目を迎えます。その年の学会準備委員長を仰せつかり誠に光栄に思っております。また、富山県理学療法士会も一般社団法人となりました。これまでの学会の歩みを振り返り、これからを見通す大会としたいと考えております。

さて、本大会は「理学療法の伝承」をテーマに掲げ、理学療法士が47年の間に培ってきた技能を再検討し、今後の理学療法士の臨床・教育・研究の発展に向けての一助となるよう、理学療法士の学術演題発表の場を数多く設けております。また、研究成果を広く一般市民に発信し、理学療法士の活動を理解していただきたく公開講座として、富山県高志リハビリテーション病院院長 野村忠雄先生に「きときと100歳～要介護にならないために～」というテーマで御講演いただく予定です。

また、今回の 目玉として 業者様よりご協賛を頂き、ランチサービスを参加者の皆様に振る舞う企画を計画しております。協賛業者様や会員、友人との交流を図り、楽しく実りあるものとなることを期待しております。

大会が熱気の溢れる、華やかなものになるように努力致したいと存じておりますので、是非、会員の先生方にもご協力を賜れば幸いです。多くの先生方のご参加やご発表を何卒よろしくお願い致します。

準備委員長（富山医療福祉専門学校）

徳 田 裕

平成24年度 第2回 理事会報告

日 時：平成24年6月14日(木)

場 所：富山市民病院リハビリテーション科

出席者：島倉 川合 寺田 酒井 徳田

堀尾 森山 森田 柴田 池田

山口 廣田 滝田

書 記：亀 山

<報告事項>

○事務局報告事項：事務局郵送物、会員移動状況、公印・公文書使用簿等の報告。

○公益社団法人日本理学療法士協会第41回定期総会報告

○6/3 理学療法基礎系研究会催研修会「リハビリテーション脳科学」実施報告

<検討事項>

1. 平成24年度各種表彰(案)について(表彰審査委員会)：富山県部門功労表彰、いきいきとやま健康と長寿の祭典大会長表彰、40周年記念事業(県知事表彰、会員表彰、感謝状贈呈)の検討
2. 県士会員に対する生涯学習についての調査(教育局)：富山県士会の新プロ修了率62.6%、専門領域入会率8.3%である。今後、県士会員の日々の研鑽と専門職としての資質の向上が求められることから生涯学習についてのアンケートの実施が検討された。
3. 協力部員の運用について(教育局)：1～3年目の新人会員の中から各年度地区新代表者(2名程度)を選出することが提案された。今後、新人オリエンテーション時に地区新人に伝達する予定とした。

4. 衆議院議員 山口 和之氏全国後援会組織について(後援会事務局)：各地区で取りまとめ、加入の推進を行っていく。
5. 地区連絡会の研修会について(富山北部地区連絡会)：講師料や活動費のあり方などが検討された。
6. 40周年記念式典について(40周年記念事業)：式典の招待者についての検討と活動計画として「あいの風リレーマラソン」への参加が検討された。
7. 倫理教育担当者アンケートについて：日本理学療法士協会倫理委員会より倫理教育担当者用資料についてアンケートの依頼、不祥事例の情報提供依頼のお願いがあった。
8. 医療保険・介護報酬に関する実態調査施設推薦(職能局)：クリニックのPTを対象にしてアンケートを実施する。



★地区連絡会だより★

富山南部地区連絡会

7月27日に八尾総合病院にて今年度第1回目の富山南部地区連絡会を開催し36名の先生方に参加していただきました。今回は「脳卒中の評価と注意点」と題し山田温泉病院の仲川仁先生に講演していただきました。講演では脳卒中患者の高次脳機能障害に対してどのような点に注意して運動療法を展開していくかを説明されました。講演後は新人の自己紹介、情報交換会を行いました。



今年度 第1回目富山南部地区連絡会を開催

新川地区連絡会

<第1回連絡会議と新人歓迎会>

7月21日(土)に、とりでん黒部店にて第1回新川地区連絡会会議と新人歓迎会を行いました。参加者は17名で、そのうち新人の方の参加は5名でした。

会議では、今年度の活動、各職場での勉強会の内容・頻度について話し合いを行いました。会議の結果、10月13日(土)に、入善老人保健施設こぶしの庭の施設見学と、「車椅子クッションの基礎と選び方」、というテーマで(株)タカノ、高橋氏による勉強会を行うことが決まりました。会議は会員の勉強熱心な姿勢が伝わってくる有意義なものでした。

歓迎会では新人会員の紹介を行いました。会員同志、話をしてみると同じ中学校出身、住んでいる所が近所。今度、黒部の野外コンサートに私も行く。などの話題で盛り上がりました。これをきっかけに会員同志のさらなる親睦が深まれば良いと感じました。

2次会は、まねきねこ黒部店で行いました。カラオケでは美男美女の美声を聞くことができました。また、今をときめくAKB48の華麗なダンスを披露してくださる方もおり愉快地時を過ごすことができました。

新川地区の会員の輪が広がることを感じるこのできた楽しい歓迎会でした。



新人歓迎会の様子

〈新川地区勉強会〉

平成24年7月31日(火)に黒部市民病院のリハビリセンターにて第1回新川地区勉強会を行いました。今回は「ロボットスーツHAL 下肢タイプ 福祉用のデモンストレーション」として大和ハウス工業からロボットスーツHALを借りて概要から実際に装着して体験させていただきました。新川地区のOTや健康運動指導士の方なども参加され総勢19名でした。

DaiwaHouseロボット事業推進室主任の福田祐介氏より構造から装着の仕方、実際の訓練風景などの説明があり、その後実際にHALを装着しての体験会を行いました。両下肢及び片脚



勉強会の様子

用の2種類があり、両下肢用では下肢の収縮を感知し介助するタイプで、片脚用では反対側の荷重により装着している側を動かすタイプでした。

実際に体験した黒部市民病院 竹中 基泰 先生に装着した感想を聞きました。

「今回、HALを装着、体験するという大変貴重な経験をさせていただきました。両下肢用、片脚用と2種類体験したのですが、確かに立ちやすい、歩きやすいということを実感することができました。わずかな力でこんなにも歩きやすくア

シストされ、患者様が長期間使っていけば運動改善につながると改めて思いました。しかし、当院では急性期病院ということもあり、実際に使うとなると、時間的な制約があり難しい部分が多数です。もっと、取り付けやすく、かつ設定に時間がかからないのであれば、急性期病院でも普及していくと思いました。」

今回の勉強会では普段体験できないことをさせていただき大変勉強になりました。今後もいろいろなものに挑戦していきたいと思います。



立ちやすく歩きやすいということを実感

笹 川 尚 (黒部市民病院)



副会長(理事)代議員

滝田 正樹(富山市民病院)

一般社団法人となり社会に認められ貢献できる団体として、会長を補佐してさらなる発展を目指し、公益法人の取得に向けて尽力したいと思います。



副会長(理事、学術局長)

川合 宏(富山大学附属病院)

微力ながら、引き続き士会における学術活動推進に寄与したいと思います。ご協力よろしくお願いします。



理事 事務局担当

徳田 裕(富山医療福祉専門学校)

さて、私こと、このたび事務局担当理事に就任することになりました。今後は、微力非才の身ですが、一般社団法人 富山県理学療法士会のために尽力するつもりでございます。何卒格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう、伏してお願いたします。しかし、財務部長、表彰審査委員長、学会準備委員長、組織部員、物理療法研究会副代表を兼務しており既にギブアップ状態です！



理事 教育局担当

酒井 吉仁
(富山医療福祉専門学校)

理学療法士が社会的な役割を果たせるように、教育システムの構築に取り組みます。



理事 事務局担当

大野 愛美

(富山県高志リハビリテーション病院)

富山県の理学療法士の発展に何かしやお役にたてるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



理事 教育局担当

山口 城弘(高岡市民病院)

公益になる活動を支援していけるように関わって行きたいと思っています。



理事(教育局長、研修管理部長)

寺田 一郎(厚生連高岡病院)

協会の生涯学習システムが改定されていますが、より多くの方々の生涯学習が進むよう、関連各部と協力して任にあたります。

事務局

事務局長、組織部長

滝田 正樹(富山市民病院)



事務部長

宮原 謙一郎

(富山医療福祉専門学校)

事務部長に就任した宮原です。会員名簿管理、総会・理事会運営、渉外活動等、9名の部員で頑張っております。宜しくお願い致します。



教育局

教育局長、研修管理部長

寺田 一郎(厚生連高岡病院)

卒後教育部長

中島 隆興(富山県立中央病院)

また学ぶ機会をいただきました。互いに高め合いましょう。



福利厚生部長

木内 彰

(富山県高志通園センター)

今年度は県士会が40周年を迎えることもあり、たくさんの事業があります。士会員の皆さんのたくさんの参加をお待ちしています。



卒前教育部長

高橋 武広(真生会富山病院)

今期で3年目の部長職となります。本年度より一般社団法人となり以前とは異なる視点で卒前教育部の仕事を行いたいと思います。



情報管理部長

笹川 尚(黒部市民病院)

本年度より法人化され一般の方にも分かりやすい会報にしていきたいと思っておりますので協力をお願いします。

学療法士会 役員紹介

会長(理事)代議員

島倉 聡(黒部市民病院)

会員一体となった活動ができるよう、県士会の発展に貢献していきたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



監事

清田 正昭(富山労災病院)

いただいた職務を頑張りたいと思います。



監事

増山 智(富山県立中央病院)

監事として「法人会計マニュアル」をしっかり熟読します。

理事 学術局担当

池田 裕哉

(八尾総合病院)

学術局担当理事として、富山県士会を盛り上げていけるように努力していきます。よろしくお願いします。



代議員、理事 職能局担当

森山 明

(魚津市役所 社会福祉課)

地域包括支援センター予防係)
行政からの視点で、これからの社会保障制度改革において、理学療法士に関わる情報を提供できればと思います。



理事 公益事業局担当

柴田 浩之(市立砺波総合病院)

公益事業局担当理事と保健事業部長を兼務します。少しでも県士会の力になればと思っています。よろしくお願いします。

理事 学術局担当

杉谷 清美

(射水市民病院)

未来へ新しい一歩を！
今こそ富山県理学療法士協会！



理事 職能局担当

廣田 和寛(堀川南光風苑)

県士会の発展のため微力を尽くしたいと思います。よろしくお願いします。



理事(公益事業局長)

堀尾 欣三(南砺市民病院)

富山県理学療法士会は本年度一般法人として登録され一社会団体としての一歩を踏み出しました。今後公益法人に向けて、微力ながら貢献して行きます。

局

学術局長

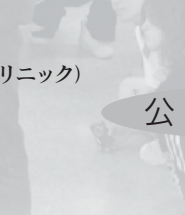
川合 宏(富山大学附属病院)



理事(職能局長)

森田 忠秀(整形外科センター 西能クリニック)

微力ではありますが、職能局として理学療法士の職制に関する研修会の開催やタイムリーな情報が会員の皆様に届けられるようがんばります。



公益事業局

公益事業局長

堀尾 欣三(南砺市民病院)

職 能 局

職能局長

森田 忠秀(西能病院)



福祉事業部長

広川 晃彦

(独立行政法人労働者健康福祉機構 富山労災病院)

分りにくい部だと思われるでしょうが、士会から外向きに色々と発信していく部です。興味があれば是非連絡下さい。

専門領域研究部長

仲川 仁(山田温泉病院)

今年の4月の「医療保険と介護保険の同時改正」を何とか乗り切り、ホッとしておりましたが、中身を吟味すると、本当の改定は2年後にやってくるのがわかり、今から戦々恐々の思いになっています。
我々、セラピストを取り巻く社会情勢は、目まぐるしく変化し、それに対応することに躍起になっておりますが、初心に戻り、「自分がセラピストとしてできることは？」と考えたときに、やはり目の前の患者さんに、精一杯のサービスを提供することに尽きることに気が付きます。
このことは、いくら社会情勢が変わろうとも、変わらない事だと思えます。そのためには、専門領域研究部としては、会員の皆様の臨床での知識・スキル向上・最新トピックス等を盛り込んだテーマの研修の場の提供、また認定・専門理学療法士を考慮した研修の場を、皆様の要望・意見を聞きながら、企画・運営をしていきますので、積極的にご参加下さいよう、ご協力をお願いしたいと思います。



業務推進部長

竹中 誠

(アルペリハビリテーション病院)

皆様の理学療法業務の遂行における疑問・悩みの解決や、新しい情報の提供などお手伝いが出来るように努めたいと思います。よろしくお願いします。



保健事業部長

柴田 浩之(市立砺波総合病院)

広報部長

炭谷 勇

(社会福祉法人マーシ園 マーシ園木の香)

広報誌の発行や理学療法週間事業などを通じ、県民の皆様に理学療法(士)について理解いただけるよう努めてまいります。

学術資料部長

竹内 悦子(射水市民病院)

読みたい！載せたい！薦めたい！
そんな学術誌を目指します。



介護保険部長

村中 浩則

(富山市社会福祉協議会細入支所)

本年度、医療保険・介護保険両制度の改訂がなされました。微力ではありますが会員の皆様のお役に立てればと考えています。



調査部長

柴田 孝博(市立砺波総合病院)

調査部は士会活動に関する調査などを行っています。士会員の皆様に役立つ事業を実施していきたいと思っています。よろしくお願いします。

地区連絡会代表紹介

新川地区

竹山 和宏

(入善老人保健施設こぶしの庭)

会員同志のより良い関係、顔の見える関係づくりを目指し新川地区の活動を実施していきます。ご協力宜しくお願い致します。



富山南部地区

舟坂 浩史 (八尾総合病院)

勉強会、懇親会などを通して南部地区の交流を深めていきたいと思っています。よろしくお願いします。



高岡地区

中村 拓人 (厚生連高岡病院)

富山県理学療法士会、高岡地区の地域医療の発展のため、今年も「顔の見える関係作り」をテーマに活動していきたいと思っています。



富山中中部地区

福島 友恵

(上市老人保健施設 つるぎの庭)

今年度は中部地区が学会の準備委員なので、学会準備も兼ねながら中部地区の交流を深めていきたいと思っています。



砺波地区

竹林 高弘 (北陸中央病院)

砺波地区のより一層の親睦が深めることができるように尽力していきたいと思っています。



富山北部地区

梅野 晃

(高志リハビリテーション病院)

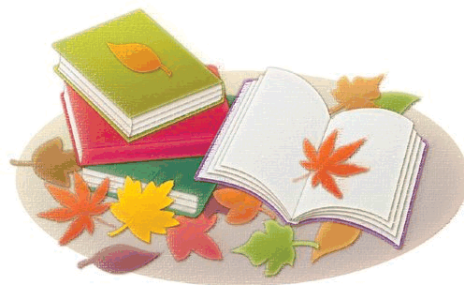
昨年度に引き続き北部地区の代表をやらせていただきます梅野です。今年度も引き続きご協力をよろしくお願いします。



富山中央地区

里崎 賢人 (きたがわ整形外科医院)

地区代表の中では最年少だと思いますが、先輩方に頼りながら精一杯中央地区を盛り上げていきたいと思っています。



新 入 会 員 紹 介

平成24年度、富山県士会に入会された皆さんをご紹介します。

H24. 7月現在、事務局が確認できている48名にアンケートを送付し、回答のあった30名の方のみ掲載しています。

アンケート内容

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 氏 名 | 2. 誕生日 | 3. 特 技 | 4. 自己PR |
|--------|--------|--------|---------|

〈新川地区〉

平成会 桜井病院

1. 士 反 祐 佳
2. 4月23日
3. スポーツ・書道
4. 患者さんが心から信頼できる理学療法士になれるよう、知識・技術を高め頑張っていきます。まだまだ未熟者ですがよろしくお願いします。



新川老人保健施設

1. 玉 井 完 爾
2. 9月26日
3. 読 書
4. 微力ながら新しい風を吹き込めるよう頑張りたいです。



たまの整形外科クリニック

1. 中 島 萌 香
2. 8月30日
3. ピアノ
4. 患者さんの心も元気にできるよう、笑顔を忘れず頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



〈富山中部地区〉

西 能 病 院

1. 西 部 涼 祐
2. 9月16日
3. スポーツなど体を動かすこと。読書。
4. 理学療法士としてこれから、勉学に励み頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。



1. 黒 田 龍太郎
2. 7月13日
3. 体を動かす事
4. 自分は好奇心があり、様々な事に興味があるので1年目から様々な事に挑戦していきたいです。



西能クリニック

1. 丸 山 洵
2. 4月19日
3. 体調管理・筋トレ
4. 素晴らしいPT、そして素晴らしい男になれるよう、一生懸命頑張っていきたいと思います！よろしくお願いします！



1. 佐々木 舞
2. 9月6日
3. 人の顔と名前をすぐに覚えられること
4. 患者様1人1人と真剣に向き合い、理学療法士として日々成長していけるように精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



富山市民病院

1. 高 田 亜 未
2. 6月24日
3. どこでもよく寝れること
4. いろんな事を吸収して大きく成長できるように頑張ります。これからよろしくお願いします。



布谷整形外科医院

1. 坪 野 朋 未
2. 12月29日
3. 写真撮影
4. 常に探求心をもち、明るく前向きに取り組んでいきます。患者様との信頼関係を大切にできる理学療法士を目指します。よろしくお願いします。



佐伯病院

1. 高 嶋 萌絵美
2. 3月5日
3. テニス
4. 初心忘れず日々努力していこうと思います。よろしくお願いします。



〈富山北部地区〉

富山県高志リハビリテーション病院

1. 藤 樫 和 彦
2. 7月13日
3. 乗 馬
4. 馬の事なら任せて下さい!!



1. 樋 樫 茉莉花
2. 12月10日
3. 早寝早起き
4. 「治せるセラピスト」目指して頑張ります!



1. 萩 行 恵 美

2. 5月17日
3. お菓子作り、パソコン
4. これから多くのことを学んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。



1. 上 野 昭 平

2. 8月16日
3. どこでも寝れること。料理を作ること。
4. まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



1. 川 原 有紀子

2. 12月20日
3. そうじ
4. 笑顔いっぱいのPTになれるように頑張ります。



済生会富山病院

1. 遠 田 謙 信
2. 6月13日
3. サッカー
4. 母校は新潟医療福祉大学です。これからたくさんの患者さんのお役に立てるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。



1. 小 玉 百合恵

2. 1月3日
3. バドミントン
4. 金城大学を卒業し、済生会富山病院に勤務しています。理学療法士になって数か月で不慣れなこともありますが、色々なところを経験し仕事に慣れていくこと。また、様々な分野の症例を経験し知識と技術を高めていきたいと思っています。



1. 三 井 普祐子

2. 1月22日

3. 水 泳

4. 富山医療福祉専門学校を卒業し、今年から急性期病院に勤務しています。まだ、理学療法士になって数か月でわからないことだらけですが、色々な症例を経験し、自分の興味のある分野を見つけていきたいと思っています。



〈富山南部地区〉

山田温泉病院

1. 砂 原 航 太

2. 4月8日

3.

4. よろしくをお願いします。



1. 蒲 生 葵

2. 4月12日

3. スポーツ、竹馬

4. これから様々な壁が立ちますが、決して諦めずがんばっていかうと思います。よろしくお願いします。



1. 千 賤 真 吾

2. 11月26日

3. 野球、バスケットボール

4. 知識・技術はまだまだ未熟ですが、初心を忘れず、日々精進できるよう努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。



大沢野クリニック

1. 中 田 真 甫

2. 11月17日

3. サッカー、フットサル

4. 明るく、元気で何事にも積極的に取り組みます。日々勉強に励みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



1. 伊 藤 唯

2. 7月16日

3. ピアノ、ビーチボール

4. どんな時も思いやりの心を忘れずに、明るく笑顔で頑張っています。まだまだ勉強不足なところがたくさんありますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



医療法人社団
東方会 おおやま病院

1. 井 澤 伸 吾

2. 2月5日

3. お菓子作り・茶道

4. 座右の銘とする「和敬清寂」のように関わり合う人達へ「和」と「敬い」「清い心」をもって謙虚（寂）に接していけるPTを目指して行きます。



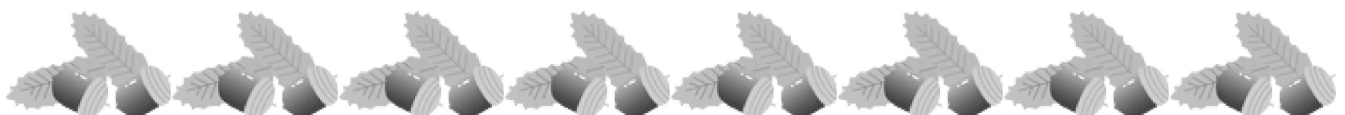
富山大学付属病院

1. 窪 田 さゆり

2. 6月17日

3. 楽器演奏

4. どんな時も前向きに笑顔で頑張っていきます。よろしくお願いします。



八尾老人保健施設 風の庭



1. 古川 友香
2. 3月5日
3. ピアノ、習字、大きい声
4. 私は、専門学校頃から地域医療・地域リハに興味があり、自分の興味のある分野に一番近くで接することができると考え、新卒で老健に就職を決めました。毎日バタバタと過ごしていますが、1日1日新たな発見があり、学ぶこと・教わることも多くあるため、とても充実しています。今後もさまざまな勉強会や研修会に参加し、知識を深めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

〈高岡地区〉

厚生連高岡病院



1. 荒井 裕伍
2. 5月3日
3. 空手
4. より良いリハビリを提供できるよう一生懸命頑張りたいと思います。

陽和温泉病院



1. 竹嶋 真弓
2. 5月25日
3. ヨット
4. PT1人と1つ上の入社2年目OT1人で頑張っています。わからないことも多いので、よろしくお願いします。

〈砺波地区〉

にし老人保健施設



1. 大木 由香里
2. 2月1日
3. ブラインドタッチ
4. PT1年目でまだまだ知識・技術ともに未熟ですが、何事にも楽しく、一生懸命に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願いします。

介護老人保健施設 葵の園・なんと



1. 中居 寛
2. 3月27日
3. どこでも寝れること（カラオケとか）
4. これからがスタートなので、勉強会等に参加し知識を深め、少しでも利用者様の生活に役立つリハビリを提供できるようがんばりたいと思います。

その他、18名の新入会員の皆さんです。

氏 名	施 設 名
藤 川 耕 輔	高岡みなみ病院
源 田 清 和	富山協立病院
庄 司 正 樹	くれは苑
丸 山 直 子	市立砺波総合病院
清 水 悠 輝	国立病院機構富山病院
熊 野 梓	富山赤十字病院
高 田 拓 実	老人保健施設 アルカディア雨晴
柏 嶋 勇 樹	アルペンリハビリテーション病院
小 林 美 穂	富山協立病院
山 本 慎 道	アルペンリハビリテーション病院
横 江 斐代理	老人保健施設 アルカディア氷見
赤 江 要	八尾総合病院
稲 生 拓 也	アルペンリハビリテーション病院
横 田 悠 紀	池田リハビリテーション病院
左 近 史 行	介護老人保健施設 エルターヴィラ氷見
棒 田 陽 子	池田リハビリテーション病院
山 本 政 孝	八尾総合病院
上 村 悠 月	八尾総合病院



「平成24年度 新入転入会員歓迎会を終えて」

富山県高志通園センター 木 内 彰

平成24年6月17日（日）に、富山医療福祉専門学校食堂にて平成24年度の新入転入会員歓迎会および士会オリエンテーション「協会組織と機構」を開催しました。

当日は午前中に卒後教育研修会・総会が開催されていたこともあり、日曜日であったにも関わらず、既会員17名、新入転入会員53名と多数の先生方に参加いただきました。

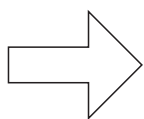
今年度から入会申し込み手続きが変更されたことにより、新入転入会員の先生方を事前に把握することが難しかったため、例年のような地区別のテーブルを設定できず申し訳なかったのですが、どのテーブルでもコミュニケーションがとれ、活発に話されているようでした。

自己紹介の後には副会長の滝田先生より「協会の組織と生涯学習システム」のオリエンテーションを行っていただき、富山県士会が一般社団法人となったこと、40周年を迎えたこと、最近の動向などを楽しくお話いただきました。新入転入会員の皆様も熱心に聞き入っておられました。

たくさんの新入転入会員の皆様に参加していただいたおかげで、歓迎会は今年度も盛況に行うことができました。今年度も引き続き新入転入会員の皆さんは福利厚生部と卒後教育部の協力部員として士会活動をしていただくことになっています。福利厚生事業への参加費が安くなっていますので、ぜひ積極的に参加して、交流を深めていただけたらと思います。そうすることで経験年数の多い先生方や自分と同じような環境の中で働いておられる先生方に気軽に助言をお願いすることができるようになると思います。

新入転入会員の皆様に限らず、県士会員の皆様の福利厚生事業への積極的な参加をお待ちしています。

県士会の新ロゴマークが決定！



一般社団法人

富山県理学療法士会

TPTA Toyama Physical Therapists Association

創立40周年と一般社団法人への移行を記念し、平成23年度No.4の会報とやまで募集していました新ロゴマークが、8月30日の理事会において決定いたしました。コンセプトは『患者さんと理学療法士が、二人で一緒に富山県の頭文字「T」を作っているデザイン。「常に患者さんに寄り添い、回復に向かって力を合わせていく」そんな、模範となる医療・福祉のあり方をイメージした信頼の持てるデザイン』となっています。今後、会報とやま、きときとPT、ホームページ、封筒などに使用していく予定になっています。今まで以上に、社会に貢献できる団体として、多くの県民の皆さんや関連団体の方々に広く認知していただき、親しみや信頼を持っていただけるよう新ロゴマークとともに活動をしていきたいと思います。

堀川南光風苑 廣 田 和 寛

研 修 会 報 告



＝「肩関節疾患に対する運動療法」＝

八尾総合病院 舟坂 浩史

5月19日、20日に八尾総合病院にて運動器研究会主催の研修会が行われました。講師に昨年度の東海北陸学会でも超音波診断装置について講演された名古屋スポーツクリニックの福吉正樹先生を再びお招きして「肩関節疾患に対する運動療法～私なりの考え方・診方～」と題して行われました。参加者も49名と非常に多くの先生方に参加していただきました。

講義では五十肩と診断された患者様に対しどのように病態をとらえて運動療法を展開していくかを説明されました。講義の中でも超音波画像にて運動療法前後の軟部組織の状態を示されたため、筋肉、靱帯が硬いということがどういう状態なのかをイメージしやすかったです。

また実技では骨、靱帯、筋肉の触診を行い、実際にクリニックで行われている軟部組織に対してのストレッチ、リラクゼーションを紹介していただきました。アシスタントの先生も2名来られたため、細かく実技指導していただきました。

今回の研修会は、解剖・運動・生理学を考慮した運動療法が重要であると再認識でき、非常に有意義でありました。今後も運動器研究会では研修会を企画し知識技術の向上に努めていきたいと思っています。よろしくお願いします。



研修会の様子



ストレッチ、リラクゼーション



実技の様子

基礎系研究会主催研修会



＝「リハビリテーションと子供の発達からみる脳」＝

富山大学附属病院 窪田 さゆり

平成24年6月3日富山大学附属病院において富山理学療法士会基礎系研究会主催、「リハビリテーションと子どもの発達からみる脳」が開催され、たくさんのセラピストや一般・学生の方々が参加されました。今回、富山大学附属病院石黒幸治先生より「ニューロリハビリテーションと乳児脳発達から前頭前野を考える～富山大学でのNIRSを用いた前頭前野の研究～」、村山医療センター臨床研究センター武田湖太郎先生より「リハビリテーション領域におけるNIRSを用いた脳機能計測の実際」、療育塾ドリームタイム木村順先生による「育てにくい子にはわけがある」と題して講義がありました。

石黒先生からは、乳児の視線に関する研究についてお話いただきました。乳児に目と目を合

わせ「いない、いない、ばー」を行った際には、相手の心を理解する部分とされている内側前頭前野の活動が活発になるそうです。リハビリテーションを行う際にも、患者さんとの目と目を合わせ心を通わせたコミュニケーションが大切だと感じました。武田先生からは、脳機能を測定する際に用いられるNIRSの基礎や留意点、ブレインマシンインターフェースについてお話していただきました。NIRSは簡易性が高く、測定時の拘束性の低さが利点として挙げられ、その特徴からリハビリテーションなどの研究に用いられているそうです。しかし測定時にノイズやアーチファクトが混入する問題点に留意しなければいけないとのことでした。正確に測定するためには、装置の利点、欠点を理解し技術を正しく使うことが大切だと感じました。木村先生からは、近年における学習面や行動面に困難がある「育てにくい子」の増加、木村先生が実際に行っている感覚統合を用いた治療についてお話していただきました。その子の可能性を最大限に伸ばすためには、子ども1人1人の個性や症状に合った適切な療育を行うことが重要だと感じました。最後になりましたが、本研修会の開催にあたりご尽力いただきました先生方に感謝申し上げます。



武田湖太郎先生



木村 順先生

「卒後教育研修Ⅰ」

アルペンリハビリテーション病院 理学療法士 稲生 拓也

今回、平成24年6月17日に富山医療福祉専門学校にて「卒後教育研修Ⅰ」に参加させていただきました。

富山県理学療法士会、教育局長の寺田 一郎先生より御講義頂いた「生涯学習と理学療法の専門領域」では、教育理念や生涯学習システムについてお話を頂き、一人の理学療法士として、また社会人として学習技能や取り組み、人格を磨く事の必要性を改めて感じました。また、今後の新人教育プログラムの進め方や、その後の専門分野への進め方の説明があり、3年間で15単位を履修する新人教育過程のことや、その後に進む認定・専門理学療法士へと進んでいく過程を知る事ができ、とても参考になる内容でした。

富山県理学療法士会、会長の島倉 聡先生に御講義して頂いた「理学療法と倫理」では医療倫理や理学療法倫理について医療倫理の歴史・推移や、職業倫理ガイドラインの内容をお話していただきました。医療現場における倫理問題に対して、私達が配慮すべき倫理原則や義務・責任を改めて認識しました。その中でも資料の最後にあった徳倫理のお話での『高潔な方法で行動したくなるような性格を持つこと。正しい行為(診療)をしていても、熱意や思いやりに欠ける医療者は適切ではない』という言葉は、今後の自分も理学療法業務を続ける上で、業務に熱意

を持ち続けようと強く心に残りました。

今回の研修会では、富山県理学療法士会での今後の取り組みや、医療人としての倫理について聞く事ができました。今後は、一理学療法士として、そして富山県理学療法士会の一員として、業務に励み、学習に邁進していきたいと思います。

卒前教育研修会

真生会富山病院 高橋 武広

平成24年7月1日、真生会富山病院において真生会富山病院心療内科、臨床心理士の坂井朋子先生を講師にお招きし、県士会員39名、県士会員外として作業療法士の先生3名、言語聴覚士の先生1名、計43名に参加のもと『臨床に活かすコミュニケーションスキル』研修会を昨年度に引き続き卒前教育部主催で開催致しました。近年、学生のコミュニケーション能力が十分でなく、バイザー・患者・施設職員と良好な関係が得られず実習がスムーズに行かないとの声が多く聞かれ、その問題解決のためにはバイザーがコミュニケーションをスキルとして理解し学生指導を行うことが必要と考え、坂井先生にご講義して頂きました。研修会では講義の後、実際の場面をロールプレイで再現して対象者とのコミュニケーションを撮る際の注意点などをお話しして頂きました。講義は臨床心理士としての先生の経験を踏まえ、またロールプレイを取り入れた大変理解しやすい内容でした。具体的な内容としては援助としてのコミュニケーションとはコミュニケーションを通して、対象者が課題に取り組もうとしている過程を援助すること。そして患者を受け入れ、話したいことを自由に話せることが大切であるとの講義から始まり、対象者との基本的な関わり方では『患者を受け入れようとする姿勢』と『話を聴こうとする好ましい態度』が重要であると説明されました。そして対象者との信頼関係の構築の重要性を話され、そのためには対象者とペースを合わせる事(ペーシング)が重要と説明された。ペーシングには、言語的なもの(声のスピード、音程、大小、リズム、相手の話し言葉の繰り返しなど)と非言語的なもの(呼吸、目線、姿勢、身振り、手振りなど対象者のまねをする)があり、非言語的なペーシングが特に重要と説明されました。そして信頼関係が構築された後、会話をリードし治療目標の達成(治療的変容)に必要なコミュニケーション(会話)を行うが、その際には『よい雰囲気をつくる』、『発話を促す』、『患者の話を明確にする事』がペーシングと共に重要と説明されました。そして発話を促すためのテクニックとして『開かれた質問』、『閉ざされた質問』、『最小限のはげまし』、患者の話を明確にするテクニックとして『いいかえ』、『要約』を説明されました。これらの講義の後、ロールプレイで実際の場面を再現し注意点等を



対象者との基本的な関わり方



話を聴こうとする好ましい態度

話されました。最後になりますが、本研修会で勉強したことを学生のコミュニケーション指導に生かしていきたいと思います。また日々の臨床でも患者とのコミュニケーション、人間関係の構築は理学療法士として必要なスキルであり、本研修会で勉強したことを今後の臨床場面でも生かしたいと思いました。



運動器研究会主催の研修会

八尾総合病院 舟坂 浩史



高畑芳信先生の講演

7月7日に八尾総合病院にて運動器研究会主催の研修会が行われました。テーマは「歩行・動作観察から見えるもの」と題し、高岡市民病院の高畑芳信先生に講演して頂きました。我々理学療法士にとって歩行・動作観察は専門分野である一方、比較する基準値、正常値がなく曖昧な評価結果となっていることが臨床上多く、歩行・動作観察を苦手とする理学療法士も少なくないと思われます。そんな中、大変興味深いテーマの研修会に73名と非常に多くの先生方

に参加していただきました。

研修会では先生が臨床で歩行・動作を観察するポイントなどを、実際の症例の動画を通してわかりやすく解説されました。またその姿勢、動作が「原因」として起こっているのか「結果」として起こっているのかを区別することが運動療法へ繋げる際に重要であると話されました。

研修会終了後は富山駅周辺の居酒屋で情報交換会を行いました。情報交換会には約40名の先生方に参加していただき



研修会場の様子



懇親会

ました。研修会中にはなかなか聞けなかったことも、講師の先生に質問したり、先輩の先生に日頃の臨床での悩みなどを相談したりすることができ、若い先生から非常に有意義な情報交換会であったという感想もいただきました。

今後も県士会員の知識、技術の向上と共にネットワーク作りの手助けが出来るようなものを企画していきたいと思っています。



平成23・24年富山県訪問リハビリテーション研修会 step 2

南砺市訪問看護ステーション 森田 慎也

平成24年7月30日(土)、7月1日(日)の2日間にわたり平成23・24年富山県訪問リハビリテーション研修会 step 2が富山医療福祉専門学校で開催されました。1日目の前半は県厚生部高齢福祉課より介護保険班主査の楠晶絵先生、生きがい対策係主任の中村真由美先生より介護保険制度および訪問リハビリテーションサービスについてご講義をいただき、後半はスキンケア・排泄ケアについて皮膚・排泄ケア認定看護師である富山通信病院副看護師長の藤野由紀子先生

から講義をいただきました。2日目は富山福祉短期大学社会福祉学科教授の鷹西恒先生より面接技術について講義をいただきました。

シンポジウムでは「セラピストとして評価すべき内容」として、入善訪問看護ステーションのOT唐津学氏、シルバーケア今泉のST市橋健氏、PTは自身がそれぞれの視点で訪問リハに必要な評価について発表を行いました。訪問リハにおいて評価を重視する点は身体機能や健康状態ではなく、ICFにおける「参加」や「個人因子」について着目する必要性を伝えたくて、本研修会が提示した事例を元にワークショップを行っています。リハ3職種や訪問リハの経験の有無の異なる参加者で構成されたグループで積極的な発言が交わされていました。12月には研修会step3の開催を予定しており、前回・前々回の参加を問わず皆様の参加をお待ちしております。



受講者から質問を受ける中村先生



藤野先生

一般社団法人富山県理学療法士会 保険事業部



【2012北信越かがやき総体トレーナー派遣報告】

厚生連高岡病院 中村 拓人

平成24年7月29日(日)から8月7日(火)に、2012北信越かがやき総体男女バレーボール競技が行われ、テーピングサポートサービスとしてトレーナーを派遣しました。8日間の大会期間中、のべ13名の利用がありました。なかでも今回、積極的にトレーナー室を利用していた地元高岡商業女子バレー部が、予選リーグから決勝トーナメントまで勝ち上がり、昨年の準優勝校を破る大活躍を見せてくれました。自分たちが関わった選手たちが、躍動する姿を見るのは非常に嬉しいものです。

今回の高校総体を契機に始まったトレーナー派遣事業ですが、今後も様々な形でスポーツ現場に関わっていきたいと考えています。今後とも、県土会員の皆様のご協力をお願い致します。



テーピング作業中の様子



優秀選手賞を受賞した、高岡商業の澤武さんと西川さん

介護保険部研修会

～現状をみんなでしゃべらんまいけ! Part 7～

平成24年8月3日(金)富山市総合社会福祉センターにて介護保険部研修会が開催されました。今年4月①地域包括ケアシステムの基盤強化、②医療と介護の役割分担・連携強化、③認知症にふさわしいサービスの提供、④地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保、という4つの基本的な視点に立った介護報酬の改定が行われました。今回の研修では、それらの改定に伴い、介護保険でのリハビリテーションの実際について、2名の先生より職場紹介も踏まえて発表頂きました。

【フィットリハ・アピア】

津川先生からは、運動特化型デイサービス施設での取り組みについてお話しいただきました。サービスの提供時間が3時間以上5時間未満で、午前・午後の部で開催し、マシンやスリングセラピーを用いた定員15名のグループでの運動を基本として行われているそうです。来所してからの一連の動作(靴の着脱・荷物の扱い方など)を含めて、理学療法士の視点から利用者の状態を観察するなど、利用者へのフィードバックを充実させているとのことでした。

【医療法人社団 アルペン会】

永山先生からは、アルペン会・在宅支援部にて取り組まれている様々な事業の紹介を、事例報告やこれまでのデータの集計分析なども交えて説明していただきました。通所リハビリテーションでは、運動メニューと趣味活動メニューを織り交ぜた活動参加様式を本人の要望(自己選択・自己決定)にてとり行っていることに関心が高まりました。また、重度療養管理型(医療ニーズに対応)の通所リハビリテーションについて在宅での生活が十分に安心して行えるような訪問介護サービス(入浴・家事等)や福祉用具の活用などケアマネージャーとの連携・サービス計画の重要性などのお話もありました。

今回の研修会参加者は27名(内学生2名)でした。その後の質疑応答や情報交換なども積極的に行われ、興味ある新しいサービス内容や、聞いてみたい・参考にしたい内容が具体的に深められ、仕事に対しての意欲にも結び付いたのではないかと思います。

むらおかクリニック
デイケアてまりの丘
新森 靖子



永山先生



津川先生

リレーエッセイ

遊びと仕事

厚生連高岡病院 中村 拓人

高岡市民病院の山口先生からご紹介頂きました、厚生連高岡病院の中村です。山口先生には、所属施設が近いこともあり、良き先輩として日頃より大変お世話になっています。

さて今回、私に与えられたテーマは「遊びと仕事」です。私は、遊びと仕事は、車の両輪のような関係であると考えています。良い仕事をするには、遊びで気分転換することが必要ですし、また遊びを充実させるには、適度に張りのある日常が必要だと思います。というようなことを書くと非常に格好がよいのですが、これは高校の先輩であるM田さん（PTではありません）からの完全な受け売りです（笑）。

それでは私の仕事についての紹介です。勤務する厚生連高岡病院は、脳血管、運動器、呼吸器、心・大血管、がんリハ、スポリハ、回復期病棟など、非常に多くの分野のリハビリテーションを提供しています。この中で私は、スポーツリハビリテーションを担当しています。競技別でいうと、陸上、野球、ハンドボール、バレーボール、バドミントンなどの選手をみる機会が多いです。珍しいところでは、現在バレーナも1名担当しています。

県土会の仕事では、高岡地区連絡会の代表と公益事業局保健事業部のトレーナー派遣事業を担当しています。本年、地元開催の2012北信越かがやき総体バレーボール競技に、2000年国体以来となるトレーナー派遣を行いました。この詳細は、県学会で報告する予定ですのでご期待下さい。



自家製プッタネスカ

最後に、遊び（＝趣味）についてです。趣味ということで、最近ハマっている料理と養成校時代から続けているサーフィンを紹介したいと思います。

料理が趣味の人といえば、何でも作れる、何でもできるセミプロ料理人というイメージがありますが、私の場合は、自分の興味のあるものしか作れない気まぐれな半端料理人です。得意なのは、トマトソースに、オリーブ、アンチョビ、ケッパーをいれた、「プッタネスカ」というパスタです。プッタネスカには、イタリアンパセリが欠かせないのですが、しかし売っている店に限られています。そのためイタリアンパセリの安定供給のため自宅でもイタリアンパセリの栽培まで始めてしまいました。

次にサーフィンです。今回、この機会にサーフィンについて改めて考えてみましたが、サーフィンの魅力は沢山あって、何をどう伝えたらいいか全然まとまりませんでした。そこで、サーフィン雑誌から、あるレジェンドサーファーの言葉を引用してみました。

「サーフィンとは『自由』です。そして、自然の世界で、自然とともにあること。自然に包まれることで、自然はコントロールできないことを知ります。自然を観察し、そこで起こることに身を任せなければなりません。それは、ある種のスピリチュアルな再生です。混雑などで、がっかりさせられることがあったとしても、海にいて水を楽しむことで、自分自身がリニューアルされるのです。」まさにこの通り！これほどの確に、「サーフィン」を捉えたものはないように思います。日々、仕事に追われるばかりでは、色々なバランスが取れなくなってしまうです。休日には、サーフィンを楽しみリニューアルして、また新たな気持ちで仕事に臨んでいるわけです。



羽咋市の柴垣ポイントにて

以上、私の「仕事と遊び」について紹介してきました。興味のある方は、是非気軽に声をかけて下さい。

次回は、「日本サッカー界の未来」をテーマに、流杉病院の井上貴文先生にお願いしたいと思います。

事務局インフォメーション

- 平成24年4月1日より、日本理学療法士協会にて包括的会員管理システムが導入されました。それに伴い、当士会でも「異動」「休会」「復会」「入会」「退会」の手続きを、全てWeb上で受け付けております。諸手続きの用紙は受付けておりませんので、日本理学療法士会のホームページより諸手続きをお願いいたします。
- なお、当士会で登録していた内容と、協会に登録されている内容が、異なる会員が少なからず確認されております。今一度、日本理学療法士協会のホームページよりログインして頂き、ご自身の会員データのご確認の上、適時ご修正をお願いいたします。
- 職場で会員のご結婚の予定がおわかりでしたら、事務局へご一報願います。事務局より祝電にて祝福させていただきます。

職能局の相談窓口

職能局では、理学療法業務に関する相談や、医療保険・介護保険に関する質問などを受け付けています。お気軽にお尋ねください。

整形外科センター西能病院クリニック リハビリテーション科 森田まで

TEL (076) 422-1553 FAX (076) 422-1515 E-mail:tmorita@sainouhp.or.jp

学術資料部からのお知らせ

「みんなの理学療法」では、皆様からの原稿を募集しています。具体的なデータに基づいたオリジナリティの高い原著論文、報告等のご投稿をお待ちしております。学会や研究会で口演された内容を改定した論文でも結構です。

問い合わせ先：射水市民病院 リハビリテーション科 竹内まで

TEL (0766) 82-8100 FAX (0766) 82-8104

E-mail:shin_reha@yahoo.co.jp

原稿募集中



先日記念式典が開催され、今年度当県士会は40周年を迎えることになりました。準備に携われた役員の皆様、お疲れさまでした。富山県PT士会の会員も600名に迫る人数となり、また法人化され、新たな節目を迎えたと思っています。

日本の将来推計人口によると、2010年日本の人口は、12,806万人。うち20～64歳までのいわゆる就労人口は7,564万人であるのに対して、65歳以上の方は2,949万人であったそうです。これに対して2025年の人口構造変化は、就労人口が約1,000万人減、65歳以上の方は約700万人増の予想がされています。65歳以上の内訳をみると、65歳以上74歳以下では2025年約50万人減でほぼ横這いに対して、75歳以上では2025年には約750万人の増加が見込まれています。超高齢化社会の正体は、現在より高齢になった高齢者が増える社会なのです。また、厚生労働省の患者調査によると、入院患者の年齢別内訳は、1995年と2008年の比較で、40歳以上64歳以下が32.8%から23.4%に減少、65歳以上74歳以下が共に20%であるのに対して、75歳以上84歳以下が32.0%から46.8%と増加しています。高齢者増加は、入院患者数の増加が考えられますが、国は病床数を増やさない方針のため、病床の回転率を上げる すなわち「更なる入院期間の短縮」が迫られています。このことは、医療ニーズの高い患者が在宅へ戻らざるを得ない状況に結び付いていきます。

法人化・40周年という節目を迎えた当県士会ですが、医療・介護を取り巻く情勢も新たなかつ厳しい局面を迎えています。今後この局面を乗り越えるために、会員各人がそのことを意識することで県士会は更なる発展を遂げ乗り越えていくものと思っています。

長 谷

2012. 9. 28

社団法人 日本理学療法士協会
富 山 県 士 会

☎936-0023 富山県滑川市柳原149-9
富山医療福祉専門学校
理学療法学科内

☎(076) 476-1716

発行人：島 倉 聡
編 集：笹 川 尚
印 刷：志 貴 野 苑

士会URL:<http://toyamapt.umin.ne.jp/>
事務局アドレス:toyamapt-office@umin.ac.jp

